【学ぶことの意味と物事を適切に判断することの重要性について】

1 「努力は報われる」の意味について、俯瞰した視点を持つことは重要である

「努力は報われる」という主張は一見非常に美しく響きます。しかしながら、それは願望でしかなく、現実の世界はそうではないということを直視しなければ、「自分の人生」を有意義に生きることは難しいでしょう。厄介なのは、「頑張っている人はいずれ必ず報われる」という考え方に囚われた人は、しばしば逆の推定をすることです。つまり、「成功している人は、成功に値するだけの努力をしてきたのだ」と考え、逆に何か不幸な目に遭った人を見ると「そういう目に遭うような原因が本人にもあるのだろう」と考えてしまうわけです。例えば「自業自得」「因果応報」「自分で蒔いた種」など弱者非難に繋がることわざがあります。自分の価値観のみで物事を判断することはとても危険なことです。俯瞰した視点を持つことはとても重要です。

2 「努力は報われる」の考えに囚われず、現実を直視することが重要である

「努力は報われる」とすると、誠実に努力を続けている人は、いずれ抜擢されたり脚光を浴びたりしなければなりません。しかしながら、現実の世界は、日の当たらない場所でいくら頑張ったとしても抜擢されず、脚光を浴びることもないこともあるわけです。「努力は報われる」という考えに囚われていると、生きづらさを増幅します。1つのことだけに没頭せず、複数のことに興味・関心を持つことも生きていく上で大切なことだと思います。例えば、「体を動かす趣味」と「頭を使う趣味」を持つことも精神衛生上とても良いことだと思います。

3 物事を正しく判断するための「情報収集能力」と「基礎学力の養成」は重要である

「情報収集能力」と「基礎学力の養成」の重要性については、既に、進路便り No.5 (7月21日発行) で言及した。このことは、とても重要なことであるからもう一度触れておく。社会生活を営むうえでよりよく生きていくためには、情報を的確に得ることが重要であり、そのためには、読解力、表現力、データ分析力、外国語から情報を得る能力などがが必要です。これらのことは、国・数・英などで学ぶことが根幹にあるように思えます。また、「情報収集能力」は皆さんの学力(学ぶ力)とも深い関係があるように思えます。普段の学習においても、適切な情報収集をすることで効果的に学力を高めることは可能です。これ以外に必要なものは意欲的態度に他なりません。皆さんは進学希望、就職希望を問わず、愚直に高校程度の教養を十分に身に付けるべきです。今後、生きていくための思考力・判断力を高めるための土壌をつくるのが高校教育です。皆さんは本校の授業などを通じて、今後、自分にとって学ぶべきもの(学ぶ必要があるもの)が生じたときに、どのように学ぶべきかの方法を身につけて欲しいと思います。授業を疎かにすると、視野の狭い価値観で物事を判断したり、怪しげなものを怪しいと見抜けない人物になりかねないことを肝に銘じるべきです。当然ながら、基礎学力を養成するために努力することは、見返り(良い評価)を求めることでもありません。「情報収集能力」と「基礎学力の養成」は現代社会を生きるために必要なことです。皆さんには、これらのことを踏まえ、長期的視点で自分の進路について考えて欲しいと願っています。